

令和元年度事務事業評価シート(平成30年度実績)

◎基本情報

事務事業名	水道事業経営基盤強化推進事業		担当部署	企業局 水道企画課	
総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市水道事業ビジョン	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始	平成 <input type="text" value=""/> 年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと			終期
(小項目)		上水道			
施策	3	安全で強靱な水道の持続			
基本事業	1	経営基盤の強化と適正な料金水準の設定			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 水道事業全般						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	中長期的な経営の基本計画である経営戦略に基づき、経営基盤強化への取り組みを進め、健全な経営状態を保つ。						
事業計画	30年度に何を計画していたか	経営戦略に掲げた各種取り組みを着実に推進するとともに、水道事業審議会の答申を踏まえた料金改定案の検討や市民説明等を実施する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位
		累積欠損金	0	0	0	0	0	円

◎実施結果(DO)

事業実施内容	30年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	水道事業審議会からの答申を踏まえ、自治振興会や大口使用者等を対象とした説明会を開催するとともに、平成31年4月から水道料金を改定することとし、条例改正を行った。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
	指標名	29年度実績	30年度実績	元年度目標	2年度目標	3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 鳴門市水道事業審議会開催回数	4	2	1	1	1	回
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	累積欠損金	0	0	-	-	-	円
	目標達成率(実績/目標)		100.0	-	-	-	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況			計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成30年度	当初予算額	0	0	0	0	0	0
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	0	0
		決算額	0	0	0	0	0	0
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,321千円/人)	臨時職員(2,125千円/人)		総人件費		総事業費
		0.5	0.0		3,661		3,661	

【鳴門市行政評価】

【事務事業名:水道事業経営基盤強化推進事業】

事業費推移	年度	29年度決算	30年度決算	元年度	2年度	3年度
	事業費	205	0	0	0	0
	うち一般財源	205	0	0	0	0
	人件費	3,617	3,661	1,464	1,464	1,464
	総事業費	3,822	3,661	1,464	1,464	1,464

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		有効性を高めるため、水道事業モニター会議等により水道事業への理解を深める取り組みを行った。
	効率性	A:効率的だった		効率的な経営を進めるため、経営戦略に掲げる各種施策の取り組みを推進した。
②成果に対する評価	指標名	累積欠損金		経費の圧縮や事務の効率化に努めた結果、当年度純利益を計上し、累積欠損金は発生しなかった。
	目標	0	円	
	実績	0	円	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		今後も厳しい経営状況が見込まれ、引き続き経営基盤強化への取り組みを進める。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	安全で安心な水道を安定的に持続していくためには、健全な経営状況を保ちながら着実に施設整備を進めていかなければならない。特に、北島町との共同浄水場の整備には多額の費用が必要であり、その財源確保に努める必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	R1年度	経営戦略に掲げた各種取り組みを着実に推進するとともに、共同浄水場整備の財源確保に努める。			
	R2年度	水道事業ビジョンの中間報告と経営戦略の中間見直しを行う。			